

# オブジェクトの属性

## 【ラベル】オブジェクト



【ラベル】オブジェクトは、文字列を表示するための入れ物です。このオブジェクトで表示する文字列のことを標題といいます。標題には、アクセスキーを含めることができます。



### 自動生成されるラベルについて

- つぎのオブジェクトを新規作成すると、作成したオブジェクトと対になる【ラベル】オブジェクトが自動生成されます。
  - テキスト
  - グループ項目
  - グループボックス
  - トグルボタン
  - リストボックス
  - コンボボックス
  - グラフ
  - バーコード
- 自動生成された【ラベル】オブジェクトは、新規作成したオブジェクトの子供のオブジェクトとして自動的にリンクされ（子オブジェクト）、新規作成した元のオブジェクトは自動生成された【ラベル】オブジェクトの親のオブジェクトになります（親オブジェクト）。
- フォーム編集時、対になる【ラベル】オブジェクトをクリックすると、親オブジェクトにフォーカスが移ります。
- つぎのオブジェクトと対になる【ラベル】オブジェクトをクリックすると、フォーカスが移動します。フォーカスがあるときに対になるラベルオブジェクトをクリックすると、項目値または変数値を編集する状態に変わります（ただし、【グループ項目】オブジェクトは、【フォーカス設定可能】属性が「許可」になっているときのみ）。
  - テキスト
  - グループ項目
  - コンボボックス

- [トグルボタン] オブジェクトと対になる [ラベル] オブジェクトをクリックすると、親オブジェクトのボタンを押したことになります。
- [サブフォーム] オブジェクトと対になる [ラベル] オブジェクトをクリックすると、指定したサブフォームの最初のオブジェクトにフォーカスが移ります。

## アクセスキー

アクセスキーとは、フォーム編集時に [ラベル] オブジェクトの中に表示される、下線のついた半角英数字のことです。フォーム編集時、[Alt] キーを押しながらアクセスキーを押すことで、対になっている親オブジェクトにジャンプできます。

[ラベル] オブジェクトの標題にアクセスキーを含めるには、アクセスキーにする半角英数字の前に & を入力します。たとえば T をアクセスキーにするには、半角 T の前に、半角の & を入力します。

(例)            電話番号 (&T)    →    電話番号 (T)

- アクセスキーとして使用できる文字は、半角の英数字だけです。
- 標題にアクセスキーを含めて意味を持つのは、対になる [ラベル] オブジェクトだけです。オブジェクトと対になっていない [ラベル] オブジェクトにアクセスキーを含めても意味がありません。
- アクセスキーで対になる親オブジェクトなどに移動すると、自動的に項目訂正モードになります。

## 設定項目

[ラベル] オブジェクトには、つぎの属性を設定することができます。

### オブジェクト名

オブジェクトの名前を入力します。他のオブジェクトと重複する名前を指定してはいけません。名前の長さは、最大で 64 文字です。全角文字も半角文字も 1 文字と数えます。

## 標題

オブジェクト内に表示する文字列を入力します。入力できる文字列の長さは、最大で 8192 byte です。半角文字は 1 byte、全角文字は 2 byte と数えます。アクセスキーを含めるには、アクセスキーにする半角英数字の前に & を入力します。

## ツールヒント

マウスカーソルがこのオブジェクトを指したときに表示するヒントメッセージを入力します。

- 入力できる文字列の長さは 260 byte までです。半角文字は 1 byte、全角文字は 2 byte と数えます。
- 文字列を途中で改行させる場合は、改行する位置に半角で ¥n と入力します。
- ツールヒント表示時の文字色は [フォーム] オブジェクトのフォントの文字色、背景色はワークスペースの背景色になります。
- ツールヒントは、このオブジェクトを 0.5 秒程度、マウスカーソルで指しておくことで表示されます。
- この属性に文字列を指定していない場合は、[ラベル] オブジェクトと対になっているオブジェクトにツールヒントが設定されていれば、その文字列が表示されます。

## 横の位置

標題文字列の横の位置を指定します。

選択肢	説明
 (自動配置)	指定できません。
 (左寄せ)	標題文字列を左に寄せます。
 (中央揃え)	標題文字列を中央に揃えます。
 (右寄せ)	標題文字列を右に寄せます。
 (左右均等 1)	指定できません。
 (左右均等 2)	指定できません。

## 開始位置X

標題文字列の横の表示開始位置を指定する場合は、 を ON にした後、[開始位置X] に文字列の横の表示開始位置を入力します。左寄せの場合は左の余白、右寄せの場合は右の余白になります。「中央揃え」を選んだときは左右の余白になります。

## 縦の位置

標題文字列の縦の表示位置を指定します。

選択肢	説明
 (自動配置)	指定できません。
 (上詰め)	標題文字列を上詰めます。
 (中央揃え)	標題文字列を中央に揃えます。
 (下詰め)	標題文字列を下詰めます。
 (指定位置)	標題の縦の開始位置を、[開始位置Y] で指定した位置から表示します。

## 開始位置Y

標題文字列を上詰めにし、かつ縦の表示開始位置（上の余白）を指定する場合は、 を ON にした後、[開始位置Y] に文字列の縦の表示開始位置を入力します。

# Q&A

## [ラベル] オブジェクト

**Q** 自動生成されたラベルを削除してもかまいませんか？

**A** 基本的にはかまいません。しかし、つぎの機能が使用できなくなりますので、削除しないことをお勧めします。

- ・ リンクされた [ラベル] オブジェクトをクリックすることで、対になるオブジェクトにフォーカスを移す。
- ・ アクセスキーによるオブジェクトのフォーカス移動。
- ・ [ラベル] オブジェクトをクリックすることによる [トグルボタン] オブジェクトの選択。

**Q** 削除したラベルを、ふたたび付加することはできますか？

**A** できます。復活したい親オブジェクトをマウスの右ボタンでクリックし、ポップアップメニューから [ラベルの付加] を選んでください。

**Q** [テキスト] オブジェクトなどを新規作成するとき、ラベルを自動生成させないようにすることはできますか？

**A** できます。オブジェクトを新規作成するまえに、つぎの手順でオブジェクトの標準値を変更してください。

- ① [書式] メニューの [オブジェクトの属性] を ON にします。
- ② [オブジェクトの属性] 画面左上の  をクリックして  にします。
- ③ [フォーム ツールパレット] で、標準値を変更するオブジェクトのボタンをクリックします。
- ④ [オブジェクトの属性] 画面で [表示] タブをクリックし、[ラベルの自動生成] を OFF にします。



- ⑤ 目的のオブジェクトを、シート上に配置します。

..... **Note** .....

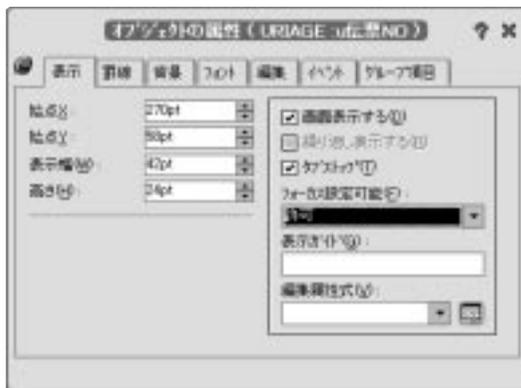
- ・ ④ で設定した属性は、桐を終了するまで有効です。
- ・ ふたたび [ラベル] オブジェクトを自動生成させる場合は、④ の場面でも [ラベルの自動生成] 属性を ON にします。

.....

**Q** [グループ項目] オブジェクトのラベルにアクセスキーを設定しても、ジャンプできません。

**A** [グループ項目] オブジェクトの [フォーカス設定可能] 属性が、「自動」になっているためです。[フォーカス設定可能] 属性を「許可」に変更してください。[フォーカス設定可能] 属性を「許可」に変更するには、つぎの手順で操作します。

- ① 設定するオブジェクトを選択します。
- ② [書式] メニューの [オブジェクトの属性] を ON にします。
- ③ [オブジェクトの属性] 画面の [表示] タブをクリックし、[フォーカス設定可能] で「許可」を選択します。



**Q** 標題文字列が改行されません。

**A** [ラベル] オブジェクトでは、改行文字の指定が反映されません。[テキスト] オブジェクトで代用してください。

[標題] の文字列は、[テキスト] オブジェクトの [ソース] 属性に入力します。その際、入力した文字列の前後を二重引用符 (") でくくってください。

**Q** 標題文字列を均等に配置することはできますか？

**A** できません。[テキスト] オブジェクトで代用してください。

[標題] の文字列は、[テキスト] オブジェクトの [ソース] 属性に入力します。その際、入力した文字列の前後を二重引用符 (") でくくってください。

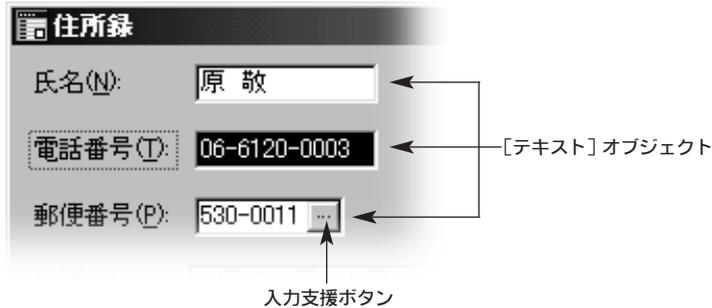
**Q** フォーム明細部にテキストなどのオブジェクトを配置して、対になる [ラベル] オブジェクトをフォームヘッダ部に配置できますか？

**A** 対になる [ラベル] オブジェクトは、同じセクション内にしか配置できません。[ラベル] オブジェクトをクリックして、異なるセクションの [テキスト] オブジェクトなどにフォーカスを移動させたい場合は、[ラベル] オブジェクトに [マウス左クリック] イベントを定義してください。

## 【テキスト】オブジェクト



- 【テキスト】オブジェクトは、項目値または変数値を表示・編集するための入れ物です。計算式を指定することで、計算結果を表示することもできます。



- 通常、このオブジェクトを新規作成すると、対になる【ラベル】オブジェクトも自動生成されます。
- 【ソース】属性に編集対象表の項目名または変数名を指定すると、フォーム編集時にソースのデータを編集できます。
- このオブジェクトの中に、入力支援ボタンを付加することができます。

### 設定項目

【テキスト】オブジェクトには、つぎの属性を設定することができます。



#### オブジェクト名

オブジェクトの名前を入力します。他のオブジェクトと重複する名前を指定してはいけません。名前の長さは、最大で64文字です。全角文字も半角文字も1文字と数えます。

#### ソース

編集対象表の項目名、変数名、定数、計算式のいずれかを指定します。

- をクリックすると、項目名を一覧から参照入力できます。
- をクリックすると、【式入力】エディタを使用してソースの値を編集できます。

### 表示行数

データの表示行数を入力します。0 を指定すると、オブジェクトのサイズとフォントのサイズに応じて自動調整します。

### [入力時の操作] ボタン

入力支援ボタンを付加するかどうか、編集時に縦スクロールバーを出すかどうかを指定します。



### 編集スクロールバー



### 入力ガイド

データを編集するとき、ステータスバーに表示するメッセージを入力します。この属性を未記入にすると、[表示ガイド] 属性 ([表示] タブ) のメッセージが表示されます。ガイドメッセージの長さは64 文字までです。全角も半角も1 文字と数えます。

### ツールヒント

マウスカーソルがこのオブジェクトを指したときに表示するヒントメッセージを入力します。

- 入力できる文字列の長さは 260 byte までです。半角文字は 1 byte、全角文字は 2 byte と数えます。
- 文字列を途中で改行させる場合は、改行する位置に半角で `¥n` と入力します。
- ツールヒント表示時の文字色は [フォーム] オブジェクトのフォントの文字色、背景色はワークスペースの背景色になります。
- ツールヒントは、このオブジェクトを 0.5 秒程度、マウスカーソルで指しておくことで表示されず。

### 横の位置

データの横の位置を指定します。

選択肢	説明
(自動配置)	指定したソースのデータ型が、文字列、日時、時間のときは左寄せ、それ以外のときは右寄せにします。 ソースが表の項目名のときは、表の項目の表示条件に従います。
(左寄せ)	データを左に寄せます。
(中央揃え)	データを中央に揃えます。
(右寄せ)	データを右に寄せます。
(左右均等 1)	データを均等に割り付けます。
(左右均等 2)	行頭と行末に余白を入れ、余白が均等になるように割り付けます。

### 開始位置X

データの横の表示開始位置を指定する場合は、を ON にした後、[開始位置X] に文字列の横の表示開始位置を入力します。左寄せの場合は左の余白、右寄せの場合は右の余白になります。「中央揃え」、「左右均等 1」、「左右均等 2」を選んだときは左右の余白になります。

### 縦の位置

データの縦の表示位置を指定します。

選択肢	説明
 (自動配置)	データを上に詰めます。 ソースが表の項目名のときは、表の項目の表示条件に従います。
 (上詰め)	データを上に詰めます。
 (中央揃え)	データを中央に揃えます。
 (下詰め)	データを下に詰めます。
 (指定位置)	データの縦の開始位置を、[開始位置Y] で指定した位置から表示します。

### 開始位置Y

データを上詰めにし、かつ縦の表示開始位置（上の余白）を指定する場合は、を ON にした後、[開始位置Y] に文字列の縦の表示開始位置を入力します。

### 文字の方向

データの文字列を横書きにするか縦書きにするかを選びます。

# Q&A

## [テキスト] オブジェクト

**Q** 項目値または変数値を編集できなくすることはできますか？

**A** できます。[ソース] 属性に指定してある項目名または変数名を ( ) でくってください。

(例) [金額] → ([金額])

..... **Note** .....

[表示] タブの [フォーカス設定可能] 属性を「禁止」に設定しても、項目値または変数値を編集できなくすることができます。しかしこの設定をした場合は、一覧表形式または伝票形式のフォームで複数のレコードを表示しているときに、処理対象行を選択しようとしてフォーカスを禁止したオブジェクトをクリックしても、処理対象行を変更できません。

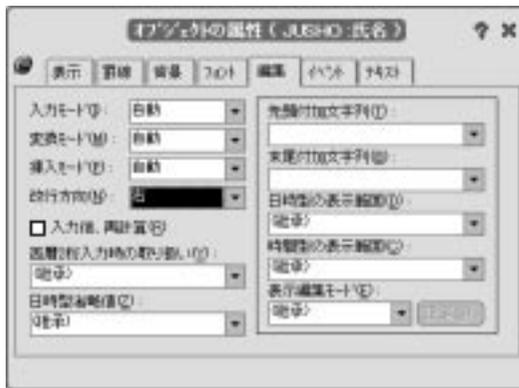
項目値または変数値を編集できなくし、かつ「この項目は更新できません。」というメッセージも表示したくない場合は、[表示] タブの [フォーカス設定可能] 属性を「禁止」にし、禁止したオブジェクトの上に、透明なコマンドボタンを配置してください。これで処理対象行の変更ができます。コマンドボタンの機能は、特に指定する必要はありません。

.....

**Q** [Enter] キーを押したときの移動方向を指定することはできますか？

**A** [改行方向] 属性を指定することで可能です。[改行方向] 属性を指定するには、つぎの手順で操作してください。

- ① 設定するオブジェクトを選択します。
- ② [書式] メニューの [オブジェクトの属性] を ON にします。
- ③ [オブジェクトの属性] 画面の [編集] タブをクリックし、[改行方向] を指定します。



**Q** [Enter] キーを押したとき、Windowsのダイアログボックスのようにフォームを閉じさせることはできますか？

**A** [改行方向] 属性を「終了」にすることで可能です。[改行方向] 属性を「終了」にするには、つぎの手順で操作してください。

- ① 設定するオブジェクトを選択します。
- ② [書式] メニューの [オブジェクトの属性] を ON にします。
- ③ [オブジェクトの属性] 画面の [編集] タブをクリックし、[改行方向] で「終了」を選びます。



**Q** [Tab] キーを押したときのフォーカスの移動順序を変更することはできますか？

**A** できます。[Tab] キーまたは [Shift] + [Tab] キーを押したときの移動順序を変更する場合は、[書式] メニューの [タブオーダーの設定] を選んでください。



..... **Note** .....  
 異なるセクションにまたがった移動順序の変更はできません。たとえば、フォームヘッダ部のオブジェクトからフォーム明細部のオブジェクトにフォーカスを移し、ふたたびフォームヘッダ部の任意のオブジェクトにフォーカスを移すといった移動順序は定義できません。  
 .....

**Q** 文字列を任意の文字位置で改行することはできますか？

**A** 任意の文字を、改行文字として代用できます。つぎの手順で操作してください。

- ① ワークスペースをクリックします。
- ② [書式] メニューの [オブジェクトの属性] を ON にします。
- ③ [オブジェクトの属性] 画面の [編集] タブをクリックします。
- ④ [表示編集モード] の右端にある [設定] ボタンをクリックします。



- ⑤ [改行] タブをクリックし、各種の改行文字を指定します。



**Q** 位取りコンマを表示することはできますか？

A 表示できます。つぎの手順で操作してください。

- ① 設定したいオブジェクトを選択します。
- ② [書式] メニューの [オブジェクトの属性] を ON にします。
- ③ [オブジェクトの属性] 画面の [編集] タブをクリックします。



- ④ [表示編集モード] を「指定値」にした後、右側にある [設定] ボタンをクリックします。
- ⑤ [数値] タブをクリックし、[コンマ挿入] を「する」にします。



..... **Note** .....  
 上記設定を [フォーム] オブジェクトに設定しておく、[表示編集モード] 属性が「(継承)」のオブジェクトすべてに適用されます。  
 .....

**Q** 数値の小数点以下の桁数を揃えることはできますか？

**A** 小数点以下の表示桁数は、オブジェクトごとに設定できます。つぎの手順で操作してください。

- ① 設定するオブジェクトを選択します。
- ② [書式] メニューの [オブジェクトの属性] を ON にします。
- ③ [オブジェクトの属性] 画面の [編集] タブをクリックします。



- ④ [表示編集モード] を「指定値」にした後、右側にある [設定] ボタンをクリックします。
- ⑤ [数値] タブをクリックし、[小数部の桁数] を指定します。

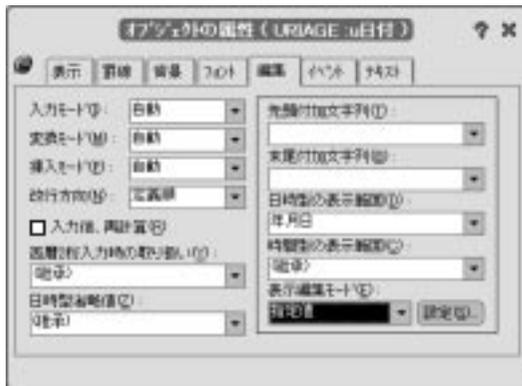


..... **Note** .....  
 上記設定を [フォーム] オブジェクトに設定しておくと、[表示編集モード] 属性が「(継承)」のオブジェクトすべてに適用されます。  
 .....

**Q** 日時型や時間型の表示形式を変更することはできますか？

**A** 日時型時間型の表示形式は、オブジェクトごとに設定できます。つぎの手順で操作してください。

- ① 設定するオブジェクトを選択します。
- ② [書式] メニューの [オブジェクトの属性] を ON にします。
- ③ [オブジェクトの属性] 画面の [編集] タブをクリックします。



- ④ [日時型の表示範囲] と [時間型の表示範囲] を指定します。
- ⑤ [表示編集モード] を「指定値」にした後、右側にある [設定] ボタンをクリックします。
- ⑥ [日時] タブまたは [時間] タブをクリックし、各属性を設定します。



..... **Note** .....

- 上記設定を [フォーム] オブジェクトに設定しておく、[表示編集モード] 属性が「(継承)」のオブジェクトすべてに適用されます。
- 日時型の年月日 (時分秒) または時間型の時間の桁数を揃えたい場合は、⑥ の操作の後、[変換] タブの [上位のゼロ] を「削除する」以外にします。

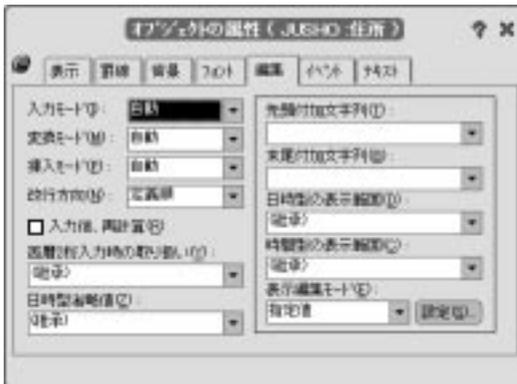


.....

**Q** [文字の方向] を「縦書き」にしたとき、組み文字を指定することはできますか？

**A** 組み文字は、オブジェクトごとに設定できます。つぎの手順で操作してください。

- ① 設定するオブジェクトを選択します。
- ② [書式] メニューの [オブジェクトの属性] を ON にします。
- ③ [オブジェクトの属性] 画面の [編集] タブをクリックします。



- ④ [表示編集モード] を「指定値」にした後、右側にある [設定] ボタンをクリックします。

- ⑤ [変換] タブをクリックし、[半角組み文字] を指定します。



..... **Note** .....

上記設定を [フォーム] オブジェクトに設定しておくと、[表示編集モード] 属性が「(継承)」のオブジェクトすべてに適用されます。

.....

**Q** ファイル名またはフォルダ名を参照入力することはできますか？

A 入力支援ボタンを付加することで、ファイル名またはフォルダ名を参照入力できるようになります。つぎの手順で操作してください。

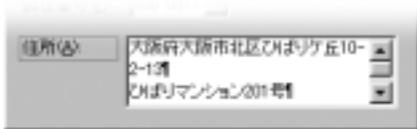
- ① 設定するオブジェクトをマウスの右ボタンでクリックし、[ボタンの付加] を選びます。
- ② オブジェクトの右端に付加されたボタンをクリックし、[書式] メニューの [オブジェクトの属性] をON にします。
- ③ [オブジェクトの属性] 画面の [入力支援ボタン] タブをクリックします。
- ④ [リストの種別] 属性を「ファイル名選択」または「フォルダ選択」にします。



- ⑤ 「ファイル名選択」を選んだ場合は、[選択値リスト] 属性を指定します。

**Q** 文字数の多いデータを表示するとき、スクロールバーを付加してスクロールさせることはできませんか？

**A** 表示状態のときのスクロールバーは、付加することができません。ただし、編集状態のときの縦スクロールバーは、付加することができます。



データを編集するとき縦スクロールバーを付加する場合は、つぎの手順で操作してください。

- ① 設定するオブジェクトを選択します。
- ② [書式] メニューの [オブジェクトの属性] を ON にします。
- ③ [オブジェクトの属性] 画面の [テキスト] タブをクリックし、[入力時の操作] ボタンをクリックします。
- ④ [編集スクロールバー] を ON にします。

